

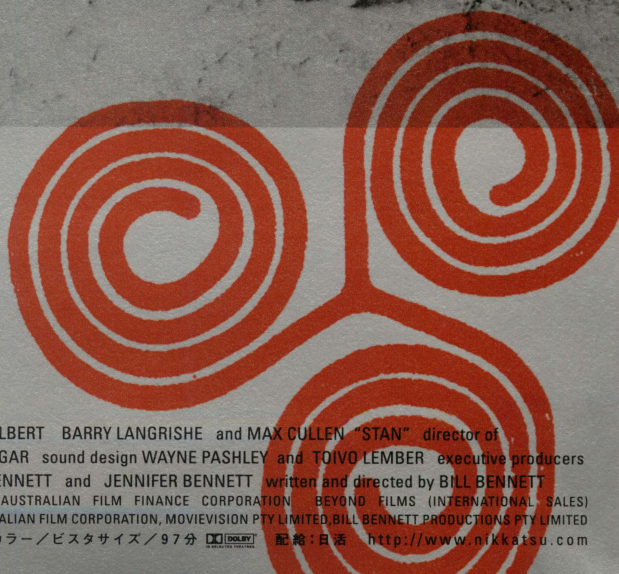
アタシを、止めて。

# K I S S O R K I L L

1997年 オーストラリアアカデミー賞 主要5部門受賞  
 最優秀作品賞/最優秀監督賞/最優秀助演男優賞/最優秀編集賞/最優秀音響賞  
 1997年 モントリオール世界映画祭 2部門受賞  
 最優秀主演女優賞/最優秀芸術貢献賞  
 1997年 シドニー映画祭 オーストラリア映画人気投票第1位

## キス・オア・キル

KISS OR KILL FRANCES O'CONNOR MATT DAY CHRIS HAYWOOD BARRY OTTO ANDREW S.GILBERT BARRY LANGRISHE and MAX CULLEN "STAN" director of photography MALCOLM McCULLOCH production designer ANDREW PLUMER editor HENRY DANGAR sound design WAYNE PASHLEY and TOIVO LEMBER executive producers MIKAEL BORGLUND and GARY HAMILTON co-producer CORRIE SOETERBOEK producers BILL BENNETT and JENNIFER BENNETT written and directed by BILL BENNETT AUSTRALIAN FILM COMMISSION THE MOVIE NETWORK SOUTH AUSTRALIAN FILM CORPORATION AUSTRALIAN FILM FINANCE CORPORATION BEYOND FILMS (INTERNATIONAL SALES) ©1997 AUSTRALIAN FILM FINANCE CORPORATION LIMITED, AUSTRALIAN ASSET MANAGEMENT LIMITED, SOUTH AUSTRALIAN FILM CORPORATION, MOVIEVISION PTY LIMITED, BILL BENNETT PRODUCTIONS PTY LIMITED フランシス・オコナー マット・デイ 監督・脚本・製作:ビル・ベネット 1997年/オーストラリア/カラー/ビスタサイズ/97分  配給:自活 <http://www.nikkatsu.com>





# K I S

'97 オーストラリア・アカデミー賞 主要5部門受賞  
 最優秀作品賞/最優秀監督賞/最優秀助演男優賞/最優秀編集賞/最優秀音響賞  
 '97 モントリオール世界映画祭 2部門受賞  
 最優秀主演女優賞/最優秀芸術貢献賞  
 '97 シドニー映画祭 オーストラリア映画人気投票第一位



監督・脚本・製作:ビル・ベネット 製作:ジェニファー・ベネット 共同製作:コリー・ソーターボーク  
 製作総指揮:マイケル・ボグランド/ゲイリー・ハミルトン 撮影:マルコム・マックローチ  
 美術:アンドリュー・ブラマー 編集:ヘンリー・ダンガー 衣装:ルース・デラランド  
 音響:ウェイン・パッシュリー/トイヴォ・レンバ

## O キス・オア・キル

出演:ニッキー・フランシス・オコナー アル・マット・デイ ジッパー・ドイル・バリー・ラングリッシュ  
 アンドリュー・ジョーンズ・バリー・オットー ハマー・刑事-クリス・ヘイウッド クリーン・刑事-アンドリュー・S・ギルバート  
 1997年/オーストラリア映画/カラー/ビスタサイズ/87分/ 配給:日活株式会社 <http://www.nikkatsu.com>



## S 犯人は誰だ!? 次々と起こる殺人…。

ニッキー(フランシス・オコナー)とアル(マット・デイ)は、バーで出会う男たちを食い物にして生計を立てている。ニッキーが誘惑してホテルの部屋に連れ込み、クスリを盛って金品を盗むのだ。ある日、クスリの量を間違えて(?)カモを死なせてしまった二人は、その男のブリーフェースを盗んで逃げ出すが、そのことが二人を果てしない逃亡の旅へと追いつめてことになる!……その中には、有名な元フットボール選手・ジッパー・ドイル(バリー・ラングリッシュ)と少年とのいかがわしい行為を録画したビデオテープが入っていた。殺人容疑と、あまりにもヤバイテープの入手に震え上がった二人は街を抜け出し、荒涼としたナラーボー平原に飛び込んだ。殺人容疑の捜査にあたることになったのは、ハマー・刑事(クリス・ヘイウッド)とクリーン・刑事(アンドリュー・S・ギルバート)の二人。ホテルの従業員からニッキーとアルの特徴を聞き出した彼らは、公開捜査を開始した。また、友人が殺され、自分の秘密のテープをニッキーたちが持ち去ったことを知ったドイルは、自ら二人の追跡を開始した。警察が、そしてドイルが、一路ナラーボー平原を目指す! ニッキーとアルの運命は? 真の殺人犯は、果たして?

## R ギリギリの男と女が「謎」と共に疾走する

主役の恋人たちを演じる二人は、『ラブ&カタストロフィー』('96)に出演し、オーストラリアで最も注目されている若手、フランシス・オコナーとマット・デイ。二人はベネット監督の即興演出に見事に応え、若さの魅力をスクリーン一杯に表現している。若い二人の脳を固めるベテラン俳優たちも、見逃せない。二人を遠巻きに見つめるミステリアスなアンドリュー・ジョーンズ役は、『ダンシング・ヒーロー』('92)での印象が強烈だったバリー・オットー。独特のユーモアを醸し出すハマー・刑事役に、『ミュリエルの結婚』('84)、『シャイン』('85)などの名脇役・クリス・ヘイウッド。その相棒を『レベル 反逆者』('85)のアンドリュー・S・ギルバートが演じオフビートな笑いを誘う。変わったところでは、ファッション・フォトグラファー出身という経歴の持主・バリー・ラングリッシュが、元花形フットボール選手を不気味に演じる。また監督婦人でもあるジェニファー・クラップが、風変わりなジョーンズ夫人役に、物語に彩りを添えている。



## L 予測不可能なサスペンス・ムービー!!

監督・脚本のビル・ベネットは、母国オーストラリアでドキュメンタリー監督として頭角を現した。その後名声を請われ、アメリカで『サンドラ・ブロックの恋する泥棒』('98)を監督したものの、結局ハリウッドのシステムと折り合わず、オーストラリアに戻った。『KISS OR KILL キス・オア・キル』の脚本は、10年前から書き溜められており、20稿に及んだが、今回の実現にあたって全く新しい脚本に書き改められている。スタッフも、以前にコマシヤルの仕事でベネット監督と組んできたカメラマン、マルコム・マックローチが、広大な南オーストラリアの風景を巧みに織り交ぜた、独特の映像世界を構築している。また、美術のアンドリュー・ブラマーが『アクア・カラー』をキー・トーンとした舞台設定で画面を引き締め、編集のヘンリー・ダンガーによる『ジャンプ・カット』(と名付けたい)手法も、本作のサスペンスフルなタッチを際立たせている。

しっかりした脚本、知性あふれる演技、そして大胆なユーモアにより、観客は最後まで謎に翻弄される。———【ヴァラエティ】  
 一目見た瞬間から、この最上級のサスペンスに満ちた、危険なオーストラリアのスリラーにあなたはのめり込んでしまう。———【シドニー・モーニング・ヘラルド】  
 緊張感があり、好奇心をそそる。さらに、セクシーでもある。———【シドニー映画祭】  
 クレバーなスリラー。息もつかせぬ程の速いペース、予測不能、惹きつけられる展開、簡潔なウィット、スマートでエキセントリック。ビル・ベネットは新機軸を打ち出した。痛快で紛れもないオーストラリアのユーモア。———【ジ・オーストラリアン】

## 11月下旬よりロードショー

特別鑑賞券 ¥1500 (税込) 絶賛発売中!  
 劇場窓口、主要プレイガイドにてお求めいただけます。当日一般 ¥1800 / 学生 ¥1600 / 高・中・小・人・シニア ¥1000

劇場窓口にてお買い求めの方に、オリジナル・ポストカード(限定)をプレゼント!!



渋谷駅南口の原緑館中央街上る。再開発ビル並び坂上(南口より徒歩5分)

